

ぴあフィルムフェスティバルの軌跡 vol.2

The History of Japanese Independent Cinema II
Retrospective of Pia Film Festival vol.2



2009年 6月30日(火) - 7月24日(金)

※月曜日は休館

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、ぴあ株式会社

料金=共催企画の特別料金

前売券(日時指定・全席自由席)：800円

当日券：一般1000円 / 高校・大学生・シニア900円 /

小・中学生600円 / 障害者、付添者(原則1名まで)500円

定員151名(各回入替制)

*雑誌「ぴあ」最新号または「ぴあカード」のご提示により一般の当日料金を900円に割引いたします。

■前売券は、5月29日から各上映日の2日前までチケットぴあ[全国のチケットぴあ店舗、ファミリーマート、サークルK・サンクス、@電子チケットぴあ(<http://t.pia.jp/cinema/cinema.html>)]にて販売します(PCODE555-309)。電話予約(0570-02-9999)は各上映日の5日前までの受付となります。フィルムセンター窓口での販売はございません。

・前売券は指定の日時のみ有効で、払い戻しはできません。

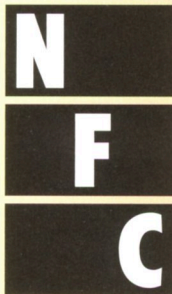
■当日券(当日・当該回のみ有効)は、会場受付にて各回上映30分前から開映時刻まで販売します。ただし、前売券が売り切れた場合は、当日券はございません。当日券の有無は各上映の前日にフィルムセンターのホームページ(<http://www.momat.go.jp/>)で確認することができます。

発券=地下1階受付

・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。

・学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

・発券は各回1名につき1枚のみです。・開映後の観覧券の販売はいたしません。



東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



小ホール 上映作品

日本インディペンデント映画史シリーズ②
ぴあフィルムフェスティバル
の軌跡 vol.2
The History of Japanese Independent Cinema II
Retrospective of Pia Film Festival vol.2

フィルムセンターは1952年の発足以来、我が国唯一の国立映画保存機関として、大手映画会社や独立プロダクションの長篇劇映画はもちろん、文化記録映画やニュース映画なども含む幅広い領域を対象にフィルムや関係資料の収集、保存、公開に努めてきました。

また、近年は自主映画や学生映画、ホームムービーなどを含む広大な個人映画の分野への取り組みを目標に掲げ、そのための糸口として昨年は新たに「日本インディペンデント映画史シリーズ」を開始するとともに、第1回の企画「ぴあフィルムフェスティバルの軌跡 vol.1」を開催しました。

前回に続き、日本最大の自主映画コンペティション「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」の歩みを振り返る今回の「vol.2」では、1987年(第10回)から97年(第20回)までを対象に、新たな世代の作家やビデオ作品の進出も注目を集めた十年間を歴代の入選作40本(22プログラム)の上映を通して回顧します。

今年初めてフィルムセンターで開催される「第31回ぴあフィルムフェスティバル」とあわせて、お楽しみください。

- 監督 ①制作 ②脚本 ③撮影 ④照明
- ⑤美術 ⑥編集 ⑦録音 ⑧音楽 ⑨出演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- プログラムの内容や上映順序はやむを得ず変更になることがあります。

フィルムセンターでは、お客様に快適な環境で映画を鑑賞していただくため開映後の入場をお断りしていますが、本企画では前売制の導入に伴い、前売券をお持ちの方に限り途中入場に制限を設けておりません。

なお、当日券の販売は上映開始(2本以上の作品が上映されるプログラムの場合)は1本目の上映開始)とともに締め切らせていただきます。

ご鑑賞の際には時間に余裕をもってご来館いただけますよう、引きつづき皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 6/30(火)2:00pm 7/12(日)3:00pm

俺は園子温だ!!(32分・8mm・カラー)

男の花道[第2部](60分・8mm・カラー)

87年(第10回)入選。作者自ら演じる主人公が、色々なものを引きずりながら「男の花道」を目指す(2部作の後篇を上映)。園子温はその後、第4回PFFスカラシップ作品『自転車吐息』(1989年)で国際的にも注目を集める。最新作『愛のむきだし』は第59回ベルリン国際映画祭で国際批評家連盟賞、カリガリ賞を受賞。86年(第9回)入選の『俺は園子温だ!!』を併映。

'86⑧⑨⑩⑪園子温⑫河西宏美⑬鈴木健介⑭ほか⑮鈴木健介、山道狂介、酒井展子

2 6/30(火)6:00pm 7/19(日)0:00pm

愛の街角2丁目3番地(112分・8mm・カラー)

87年(第10回)入選。観客賞受賞。ふとしたことで喧嘩別れた二人。失意のマサヒロはオカマになろうとし、ヨーコはドブ川に住む乞食の仲間になるが…。大友克洋の漫画を過激な即興的手法で映画化。平野勝之は89年に最後の8mm作品『雷魚』を発表後、AV作品に活動の場を広げる。自転車三部作の『白 THE WHITE』(1999年)は山形国際ドキュメンタリー映画祭でNETPAC賞を受賞。

'86(不死身会=シネマヴァリエテ)⑧⑨平野勝之⑩杉山正弘、原田陽子、鈴木豊、園子温、稲垣宏行

3 7/1(水)2:00pm 7/17(金)6:00pm

MB映画(122分・8mm・カラー)

87年(第10回)入選。作者はカメラに向かって語り始める。これからどんな映画を作るかわからないが、とにかく撮ってみよう。「MB」はマスターベーションの略。あがき苦しみながら何とか作品を作り上げようとする作者との共犯体験を味わいながら、観客はやがてそこに彼の成長した姿を見出す。

'86⑧⑨⑩⑪岡本知己⑫岩井俊二、東山充裕、伊井章、阿部伸朗、志賀伸子、木下麻樹

4 7/1(水)6:00pm 7/16(木)2:00pm

恋の姿見(86分・8mm・カラー)

87年(第10回)入選。作者は3人の女をただじっと見つめ続けるだけで何も語らない。しかし対象から湧き上がるエロチシズムを見逃さず、日記のような淡々とした映像の連続に女たちの色香が漂う。両親、友人、猫など身の日常にカメラを向けてきた個人映像作家・大川戸洋介が初めて「女」を被写体を選んだ作品。

'86⑧⑨⑩⑪大川戸洋介⑫遠藤朋子、栗原清美、榎田智子

5 7/2(木)2:00pm 7/15(水)6:00pm

ついのすみか(35分・8mm・カラー)

87年(第10回)入選。あざりを食わせろと言う男。私の体の中、砂だらけとつぶやき、軟体動物のように台所の床をはう女。カメラは2人の表情と流しのあざりに寄りかかると、砂をめぐるとりめのない会話さがさやかれ続ける。井川耕一郎は90年代からVシネマを中心に脚本家として活躍。監督作の『寝耳に水』(2001年)、『西みぎさ』(2006年)も高い評価を得ている。

'86⑧⑨⑩⑪井川耕一郎⑫福本淳⑬山岡隆資⑭北沢典子、飯塚裕之、荻原かおる

はばかりあん(57分・8mm・パート白黒)

88年(第11回)審査員特別賞、観客審査員賞、最優秀男優賞受賞。一見何の愛哲もない中学校。しかし、そこは男子が大便を禁止された恐るべきブラック・ホールであった。ある日、品行方正な少年が猛烈な便意に襲われ…。永森裕二はプロデューサー、脚本家として活躍中。6月には新作の『幼獣マメシバ』が公開。

'88⑧⑨⑩⑪永森裕二⑫樋口暁博、吉川和宏⑬高木創⑭入江奈々、中田徹、広田恵介

6 7/2(木)6:00pm 7/12(日)0:00pm

バス・アマリリス(39分・8mm・カラー)

88年(第11回)最優秀音響賞受賞。彼は“自分の音”を探していた。歌う、叫ぶ、たたく。「俺の聞きたい音はこんな音じゃねー!!」何度もリフレインされる音と映像はやがてポップな音楽となって観客に届く。墨岡雅聡はその後TBS系列「三宅裕司のえびぞり巨匠天国」(1991年)の出場監督としても人気を集めた。

'88⑧⑨⑩⑪墨岡雅聡⑫山本康晴⑬大坪英彦、山下秀児⑭弥生健生、日野哲也、古川寛、中原むつき

電柱小僧の冒険

(47分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

88年(第11回)グランプリ受賞。背中に電柱の生えた孤独な少年が、吸血軍団が支配する近未来にタイムスリップ。アニメーションの手法を駆使したSFとスピーディな演出が圧巻。塚本晋也は翌年に発表した『鉄男』がローマ国際ファンタスティック映画祭グランプリを受賞。最新作は2008年の『悪夢探偵2』。

'88⑧⑨⑩⑪塚本晋也⑫ほか⑬仙波成明、岡田伸、藤原京、タグチモロワ、佐賀充、奈佐健臣

7 7/3(金)2:00pm 7/21(水)6:00pm

わたくしと彫塑(5分・8mm・カラー)

88年(第11回)最優秀短編賞受賞。美大生の学生生活を自分の彫刻を通して振り返る5分間の短編。観客は、生真面目なナレーションや単純な設定が、実はあくまでシニカルなギャグであることに次第に気づいてゆく。現在人気CM作家として活躍している山本憲司の初期作品。

'88⑧⑨⑩⑪山本憲司

にじ(83分・8mm・カラー)

88年(第11回)審査員特別賞受賞。部屋の中でも、授業中の教室でも、旅に出て野を歩く時も作者の顔がカメラに語りかける。鈴木卓爾は『バルコ フィクション』『クワイ女』(いずれもオムニバスの監督をはじめ脚本家、俳優としても活躍。初の劇場用長篇監督作品『私は猫ストーカー』が7月に公開される。

'88⑧⑨⑩⑪鈴木卓爾

8 7/3(金)6:00pm 7/14(火)2:00pm

青緑(90分・8mm・カラー)

88年(第11回)最優秀撮影賞、最優秀女優賞受賞。些細なことでわだかまったり、すねたり、ゆれたりする恋人達の心模様を、ドキュメンタリー的手法で淡々と描写した作品。作者は『avec mon mari アベック モン マリ』(1998年)で劇場映画デビュー、近作に『NANA』(2005年)『ラフ』(2006年)など。

'88⑧⑨⑩⑪大谷健太郎⑫釜屋越子⑬広田つち⑭土居桃子、畑中満、小倉千恵、松島洋、森直子

9 7/4(土)0:00pm 7/14(火)6:00pm

北新宿の切れた指先(35分・8mm・カラー)

87年(第10回)入選。北新宿のぼろアパートの一室で、作者がカメラに向かい、ひとりパフォーマンスを繰り返す。彼は一言も語らず、暗い部屋はカメラの駆動音だけに包まれ、孤立した不気味な空間となってゆく。

'86⑧⑨⑩⑪西沢正智

夕辺の秘密

(51分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

89年(第12回)グランプリ、最優秀女優賞受賞。高校の同級生4人が、否応なく抱え込んでしまった同性愛という「秘密」の前で、苛立ち、戸惑い、気持ちを探りあう。橋口亮輔は第6回PFFスカラシップ作品『二十才の微熱』(1992年)を発表。単館上映で劇場記録を塗り替えるヒットとなった。6年ぶりの新作『ぐるりのこと。』が昨年公開された。

'89⑧⑨⑩⑪橋口亮輔⑫斉藤久志⑬鈴木卓爾⑭白井孝子、遠藤孝、柴野長男

10 7/4(土)3:00pm 7/15(水)2:00pm

RUNNING HIGH(26分・8mm・カラー)

89年(第12回)特別賞受賞。結婚式帰りにふとした偶然から警察に追われる羽目になった男の逃走劇。彼は追手をふりきろうと必死に走り続ける中で、次第に高揚してゆく自分を知る。篠原哲雄は93年の16mm作品『草の上の仕事』を経て『月とキャベツ』(1996年)で劇場用長篇映画デビュー。最新作『真夏のオリオン』が6月公開。

'89⑧⑨⑩⑪篠原哲雄⑫上野彰吾⑬田中靖志⑭村上浩之⑮千葉哲也、谷口典子、佐藤文裕、三上剛士

三角測量(54分・8mm・カラー)

89年(第12回)グランプリ受賞。小説家志望の山中は友人・永井の下宿に転がり込む。そこに永井の妹・やえも上京。意志の疎通ができなかった3人が向き合っていく様子を、的確な人物の配置と日常の些細な出来事を通して描き出す。

'89⑧⑨⑩⑪北山裕章⑫小山寛⑬河村雅子、水野史人⑭記録⑮玉田友利子⑯中幸彦、田中弥生、永井誠

11 7/5(日)0:00pm 7/16(木)6:00pm

葱(14分・8mm・カラー)

89年(第12回)最優秀短編賞受賞。東京でひとり暮らしをしている予備校生ののもとに突然母親が訪ねてくる。なぜか母親は白いバインクのヘルメットをかぶっている。部屋に上がってこつと足を入れてもヘルメットはずさず様子はなく、葱の買った買い物袋を掻き抱いたままだ。4畳半のアパートだけを使って見事に構成されたホラー。

'89⑧⑨⑩⑪三上昌晴⑫山下建治、采野圭子

雨女(72分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

90年(第13回)グランプリ受賞。降りしきる雨の中、他人の迷惑もかえりみず突っ走る常軌を逸した2人の女。矢口史靖は第7回PFFスカラシップ作品『裸足のビクニク』(1992年)を発表。『ウォーターボーイズ』(2001年)、『スウィングガールズ』(2004年)のヒットに続き、『ハッピーフラット』が昨年公開された。

'90⑧⑨⑩⑪矢口史靖⑫榎井美和、駒場香代子、山口昭三郎

12 7/5(日)3:00pm 7/17(金)2:00pm

花(24分・8mm・カラー)

89年(第12回)グランプリ受賞。大卒卒業を間近に控えた3人。三者三様の焦りを感じている彼らは、楽園の時間をつなぎ止めるかのように、少し遅い花火の夜を楽しむ。小池隆は本作で審査員の佐野元春から絶賛され、同じく審査員の市川準監督の全面協力を得て第5回PFFスカラシップ作品『大いなる学生』(1991年)を発表した。

'89⑧⑨⑩⑪小池隆⑫植田聡⑬野村圭子

12 7/8(水)6:00pm 7/18(土)0:00pm

うしろの正面(26分・8mm・カラー)
89年(第12回)最優秀撮影賞受賞。聞き覚えのある童謡のメロディ、川の中や草むらに突然出現するドア、沖繩の女。多重露出やフィルターワークなど実験的手法を駆使した映像美が高く評価された。具志堅剛は『たたかう兎』がイメー...

妹と油揚(37分・16mm・白黒)

90年(第13回)審査員特別賞、優秀男優賞受賞。志は離婚して戻ってきた妹の京子と2人暮らしだが、彼女に妖怪「イゾナ」がとり憑いてしまう。昭和30年代を彷彿とさせる凝った美術も見もの。天願大介は『アイ・ラブ・ニッポン』(1991年)で長篇映画デビュー。新作『世界で一番美しい夜』が昨年公開された。

13 7/7(火)2:00pm 7/24(金)6:00pm

ギョーザつくる母(3分・8mm・カラー)

90年(第13回)ノミネート。1988年の元且。母はたらいのようなボールに山盛りの具を目にも留まらぬ速さで包み、フライパン二刀流を駆使して、300個ものギョーザを次々と焼き上げていく。その人間技とは思えない手さばきをコマ撮りでユーモラスに表現した作品。

ほがらかな金魚たち(81分・8mm・カラー)

91年(第14回)グランプリ受賞。強引なマイウェイ娘と彼女にだまされ続ける風変わりな友人たち。個性豊かにデフォルメされた登場人物たちが、無気力・無感動・厭世感が蔓延する若者氣質をクールに映し出し、不条理だがリアルな青春群像を活写している。

14 7/7(火)6:00pm 7/23(木)2:00pm

手紙(5分・8mm・カラー)

91年(第14回)ノミネート。「僕は今日嗚咽しました。」こんな奇抜なモノローグが、独特のテンポを持つ台詞回しで続く。そして、淡々と画面に綴られる日常生活の断片。台詞と画面の絶妙なミス・マッチから、ほのぼのとした温かな世界がスクリーンに広がりはじめ。

流れるままのグリーン(79分・8mm・カラー)

92年(第15回)ノミネート。1998年の東京を舞台に、肉親や友人の死、異常気象、飛びかうホタルなど、さまざまな事象を絡ませながら、破滅に向かう地球でシビヤな状況に立たされた女性の姿がじっくりと描かれる。杉浦昭嘉はその後『奴隷性愛 私のおもちゃ』(2003年)、『出会い系不倫 墮ちた人妻たち』(2004年)などピンク映画を多数監督。

15 7/8(水)2:00pm 7/19(日)3:00pm

PARALYSIS(13分・16mm・カラー)

92年(第15回)佐藤工業賞(美術賞)受賞。奇妙な家に住む老人のある日の出来事綴った、シュールなタッチの人形アニメーション。グロテスクなまでに細密につくられた人形や美術品のようなセット、自然な質感を備えた小道具やオブジェが見事。完成までに3年が費やされている。

ピクニック(70分・8mm・カラー)

93年(第16回)日本船舶振興会賞(キャストイング賞)、シャンテ賞(観客賞)受賞。プロのミュージシャンを目指す兄弟の隣室に1人の若い女性が越してくる。3人は意気投合し、彼女は兄弟のバンドで歌うようになるが、それぞれの心には微妙な感情が生まれる。奥原浩志は第9回PFFスカラシップ作品『タイムレス メロディ』(1999年)で第4回釜山国際映画祭グランプリを受賞。近作に『16 jyu-roku』(2007年)。

'93(監)奥原浩志(脚)島貫徹(監)近藤太郎(監)倉茂徳弘(監)桜井理子

16 7/8(水)6:00pm 7/18(土)0:00pm

to Mayu(8分・16mm・カラー)

92年(第15回)優秀作品賞受賞。いとこの長女・真由へ宛てた、モノログ形式の「手紙映画」。乳房にシコリができて癌検診を受ける作者の姿に川辺で遊ぶ真由の姿をインサートしながら、成長期の不安と寂しさ、その先にある性の自覚を表現していく。

悲しいだけ(17分・8mm・カラー)

94年(第17回)ノミネート。スリをしている護と園子。護に想いを寄せる園子の兄・大史。大史が護を釣りに誘った日曜日、3人の想いは頂点に達する。ゆつりと崩れ出す人のつながりを、確かな構成、脚本、演技力で描き出す。豊島圭介はテレビ・シリーズ「怪談新耳袋」「怪奇大家族」などの演出に参加、劇場作品には『幽霊VS宇宙人』(2002年)『怪談新耳袋 ノブヒロさん』(2006年)など。

'94(監)豊島圭介(監)葛生賢(監)原野守弘(監)奥村康代、関口卓臣、原口大史

灼熱のドッジボール(15分・16mm・カラー)

92年(第15回)グランプリ、最優秀女優賞、観客賞受賞。東京に転校していく少女への想いを託して、河川敷で最後のドッジボールに興じる高校生たち。のんびりとした時間の流れと発車の時刻が迫る緊迫感が別れのドラマに起伏をもたらす。古厩智之は第8回PFFスカラシップ作品『この窓は君のもの』(1993年)で日本映画監督協会新人賞を受賞。新作『ホームレス中学生』が昨年公開された。

'92(監)古厩智之(監)青柳吾吾(監)今村豊(監)清水優雅子、松島創、仲野麻貴

家族ケチャップ(37分・16mm・カラー)

92年(第15回)審査員特別賞受賞。自分を捨てた父、ないがしろにした母。両親と対決する青年の姿を追った異色のドキュメンタリー。主人公は作者の友人で、映画は一家のプライベートをすべて露出させていく。タブーをぶち破ろうと結託した工藤監督と主人公が、カメラの前と後でギリギリのせめぎあいを繰り広げる。

'92(監)工藤義洋(監)小川浩二、中原貴世子(監)藤井勇、忠田隆造

17 7/9(木)2:00pm 7/18(土)3:00pm

五月雨厨房(17分・8mm・カラー)

93年(第16回)優秀作品賞受賞。開店を明日に控えた小さな中華料理店。着々と準備が進んでいたそのとき、突然店長が倒れ、危機を迎えた店の厨房に刻々と開店の時間が迫る。中村義洋は1999年『ローカルニュース』で劇場映画デビュー。近作に『アヒルと鴨のコインロッカー』(2007年)、『チーム・バチスタの栄光』(2008年)など。

'93(監)中村義洋(監)永為佐知男(監)鈴木謙一(監)佐藤良二(監)鈴木智則、正地敦美、細川徹

ストレンジ ハイ(60分・8mm・カラー)

93年(第16回)グランプリ受賞。気弱な大学生の安藤は陰気な同級生の荒井に、してもいない約束を破ったと執拗に責められる。荒井は自殺するが、その日から、死んだはずの荒井が安藤の生活を乱し始める。水戸英樹(水戸ひねぎ)は1996年の『脳の日』がゆうばり国際冒険・ファンタスティック映画祭オシアター部門でグランプリを受賞。2000年には『ホームシック』が劇場公開された。

'93(監)水戸英樹(監)松正義(監)山田めぐむ(監)ジョーダン(監)井島秀之、ほりかわしげと

18 7/9(木)6:00pm 7/24(金)2:00pm

PICKLED PUNK(82分・16mm・カラー)

93年(第16回)審査員特別賞受賞。全てを捨てて自己破壊の旅へ出た男。彼に盲従する女と、2人に巻き込まれる不運なサラリーマン、放浪のカメラマンがその後を追い、彼らは覚めては続く悪夢のように、出会っては別れ、別れてはまた出会う。山岡秀雄(信貴)は1997年の『Zeki, Florian and Kelly!』から2005年の『天然性侵略と模造愛』まで、4本の長篇劇場映画を発表している。

'93(監)山岡秀雄(監)雄田哲行(監)澤井貴善(監)原英子(監)プリン(監)爆発(監)町田知子、田中 信也、川島光頭

19 7/10(金)2:00pm 7/23(木)6:00pm

寮内戯戯(18分・16mm・白黒)

94年(第17回)グランプリ受賞。ある予備校の学生寮。隣室の桶が薬を使って成績を上げているという噂を聞いた石黒と篠原は、彼らの机に白い錠剤を見つけた。プレッシャーに疲れた浪人生達の長くて短い1日が描かれる。佐藤信介は2001年に『LOVE SONG』でメジャー・デビュー。8月にはフルCGアニメーションによる新作『ホッタラケの島 遥と魔法の鏡』の公開が控えている。

'94(監)佐藤信介(監)中村靖日(監)石黒紀之、川野宏毅、宮本牧子

はがね(68分・16mm・カラー)

94年(第17回)WOWOW賞(撮影賞)受賞。自ら繁殖して巨大化したような鉄の建物がそびえ立つ工業都市。友達を持たず毎日鉄の廃材で遊ぶ少女が1人の老画家と出会う。工業地帯の寒たい風景を、ひたすら美しく尊いものとして撮り上げた「ロケータロジー」のレイクエム。中嶋莞爾はその後『箱 -The BOX-』(2002年)でトリノ国際映画祭特別奨励賞を受賞。2006年度サンダンス・NHK国際映像作家賞を受賞した脚本による『クローン』は故郷をめざすのが今年公開された。

'94(監)中嶋莞爾(監)小林良和(監)根岸秋しの(監)石毛俊(監)丸山詠二、押部麗奈、川原文子、安達功一

20 7/10(金)6:00pm 7/22(水)2:00pm

ゴキブリマン(33分・8mm・白黒)

96年(第19回)グランプリ受賞。毎日を無気力に過ごす大学生・佐藤の部屋に、突如坊主頭の男が現れる。時々ベランダで飛ぼうとするその男は、佐藤に現実的な質問をしたり、意見を言うようになるのだった。福津泰至はその後『花卵』(2001年)でJCF学生映画祭審査員特別賞を受賞。福津屋兼蔵の芸名で俳優としても活躍。

'96(監)福津泰至(監)長池弘史(監)伊藤伸浩(監)古沢秀治(監)鈴木竜一郎(監)熊田祐子(監)野崎美波(監)富永昌敬、大野洋介

19(ナインティーン)

(51分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映
96年(第19回)準グランプリ受賞。暴力や窃盗を繰り返しながら目的のない旅を続ける若者たちと、彼らに拉致されて旅をする大学生の奇妙な連帯感。渡辺一志が本作を自らメイクした35mm版はアニメスb.のバックアップで世界配給された。その後の監督作には『スペースポリス』(2004年)『キャプテントキョウ』(2007年)がある。

'96(監)渡辺一志(監)神森崇(監)福山亮一、有馬頼、野呂武夫、島田亮輔

21 7/11(土)0:00pm 7/22(水)6:00pm

シンク

(85分・ビデオ・カラー) *デジタル素材での上映
97年(第20回)グランプリ受賞。離れていても人の声が聞こえる不思議な力でつながった3人。他に何の接点もない彼らは、それでも「会話」を続けながら、それぞれの人生を送っていく。東京造形大学の卒業制作として作られた本作はPFFでの受賞後劇場公開もされて話題を呼んだ。村松正浩は2007年の『けものかにげる』に続き、初の劇場用長篇作品となる新作『スラッカーズ』が5月公開。

'97(Smallight Pictures)(監)村松正浩(監)秋山真由美(監)越智博隆、佐々木広、石原孝一郎(監)鈴木孝幸、二瓶剛(監)鹿ノ戸美春、土岐香織(監)竹花寿実、瀬尾タロ、後藤智博、福田泰隆(監)松崎名史、野田慶、光安稔、勝田愛、勝木麻由、正田淳、上野昌弘、大窪将央、野村しのぶ

22 7/11(土)3:00pm 7/21(火)2:00pm

鬼畜大宴会(112分・16mm・カラー)

97年(第20回)準グランプリ受賞。70年代の学生運動を背景に、指導者を失った過激派グループの内部分裂と肅正が過激な暴力描写で描かれる。大阪芸術大学の卒業制作として作られた本作は劇場公開でもヒット。熊切和嘉は第10回PFFスカラシップ作品『空の穴』(2001年)を監督。新作『ノン子36歳(家事手伝い)』が昨年公開された。

'97(監)熊切和嘉(監)財前智広(監)橋本清明(監)近藤龍人、山下敦弘(監)向井康介(監)前田隼人、金井亜由美(監)安井聡子(監)沢田まこと(監)赤犬(監)三上純未子、澤田俊輔、木田茂、杉原敏行、小木曾健太郎、橋本裕二

		月	火	水	木	金	土	日
小ホール	6月	29	プログラム1 2:00pm	プログラム3 2:00pm	プログラム5 2:00pm	プログラム7 2:00pm	プログラム9 0:00pm	プログラム11 0:00pm
		30	プログラム2 6:00pm	プログラム4 6:00pm	プログラム6 6:00pm	プログラム8 6:00pm	プログラム10 3:00pm	プログラム12 3:00pm
	6	7	プログラム13 2:00pm	プログラム15 2:00pm	プログラム17 2:00pm	プログラム19 2:00pm	プログラム21 0:00pm	プログラム6 0:00pm
		8	プログラム14 6:00pm	プログラム16 6:00pm	プログラム18 6:00pm	プログラム20 6:00pm	プログラム22 3:00pm	プログラム1 3:00pm
	7月	13	プログラム8 2:00pm	プログラム10 2:00pm	プログラム4 2:00pm	プログラム12 2:00pm	プログラム16 0:00pm	プログラム2 0:00pm
		14	プログラム9 6:00pm	プログラム5 6:00pm	プログラム11 6:00pm	プログラム3 6:00pm	プログラム17 3:00pm	プログラム15 3:00pm
	20	21	プログラム22 2:00pm	プログラム20 2:00pm	プログラム14 2:00pm	プログラム18 2:00pm		
		22	プログラム7 6:00pm	プログラム21 6:00pm	プログラム19 6:00pm	プログラム13 6:00pm		

・上映前にゲストの舞台挨拶を行うことがあります。情報はNFCホームページでご確認下さい。



電柱小僧の冒険



夕辺の秘密



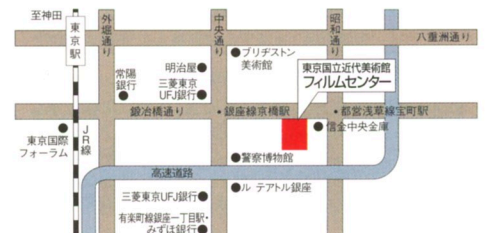
雨女



灼熱のドッジボール



鬼畜大宴会



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

表紙の写真(左列上から):

- ▶1列目
男の花道
MB映画
恋の姿見
ついのすみか
- ▶2列目
はばかりあん
わたくしと彫塑

三角測量

- 葱
- ▶3列目
花
うしろの正面
ギョーザつくる母
ほがらかな金魚たち
- ▶4列目
PARALYSIS

ピクニック

- to Mayu
ストレンジ ハイ
- ▶5列目
寮内蔵書
19(ナインティーン)
ゴキブリマン
シンク

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ウェブサイト:
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

